九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[105/106] 史淵表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/2235983

出版情報：史淵. 105/106, 1971-08-20. 九州大学文学部
バージョン：
権利関係：

彙報

杉本勲教授御退官

国史学第一講座担当の杉本勲教授が本年三月末をもって定年退官になられた。同教授は昭和四十一年四月、文学部附属九州文化史研究施設教授に着任され、同四十四年十月国史学第一講座の担任となり、九州文化史研究施設長を兼ねておられた。この間、四十五年度の九州史学会、西日本史学会の委員長として会務をとられた。同教授の略歴と主要著作目録を左にかかげる。

杉本勲教授略歴

明治四十年五月十六日　東京府豊多摩郡大久保町に生まる
昭和三年三月　第七高等学校文化乙類卒業
昭和七年三月　東京帝国大学文学部国史学科卒業
昭和二十一年四月　東京大学文学部大学院入学
昭和七年四月　宮内省図書寮嘱託
昭和九年十二月　図書寮編修官補
昭和十六年八月　図書寮編修官
昭和二十四年二月　実践女子大学教授
昭和二十五年四月　東洋大学文学部及び法政大学文学部講師
昭和二十五年十月　日本大学文学部講師
昭和三十一年十一月　日本大学文学部教授
昭和三十八年十月　早稲田大学教育学部講師
昭和四十一年四月　九州大学文学部附属九州文化史研究施設教授
昭和四十二年四月　九州文化史研究施設長
昭和四十三年四月　福岡県立女子大学講師
昭和四十四年十月　九州大学文学部国史学第一講座担任教授兼九州文化史研究施設長
昭和四十六年三月　九州大学定年退職
昭和四十六年四月　愛知県立大学教授

杉本勲教授主要著作目録

著書		（昭和年）
日本科学史Ⅰ・Ⅱ	法政大学通信教育部刊	昭二十五
日本史―概説と問題点（共著）	朝倉書店刊	昭三十一
日本史通論（共著）	朝倉書店刊	昭三十四
伊藤圭介（人物叢書）	吉川弘文館	昭三十五
近世実学史の研究	吉川弘文館	昭三十七
日本科学史（体系日本史叢書）	山川出版社	昭四十二
論文		
江戸初期における排耶蘇論の展開	歴史教育	昭七
鎖国の形成	歴史教育	昭十一
洋学	新講大日本史	昭十五
天動説より地動説へ	日本歴史	昭二十四
禁書令下の西洋文化	日本歴史	昭二十八
命理の天学	日本大学文学部研究年報	昭二十九
経験科学の勃興と民衆	日本社会史	昭三十

伊藤東涯の実学研究　研究彙報　昭三十三　田村教授
伊藤圭介の実学の性格　日本大学人文科学研究所研究紀要　昭三十五　〃　〃
北関東農村史の研究　同右研究紀要　昭三十七　杉本　〃
近世物産学の創始について　石田・和田・竜・山中四先生頌寿記念史学論文集　昭三十七　臼井助教授
近世日本における中道思想の研究　日本大学人文科学研究所紀要　昭三十八　川添　〃
元禄期諸科学の成立　歴史教育　昭三十九　〃　〃
近世後半期の百科事典について　研究彙報　昭三十九　藤野　〃
筑前蘭学事始考　九州文化史研究所紀要　昭四十二
佐賀支藩の蘭学について　史淵　昭四十三
大庭雪斎訳述考　蘭学資料研究会報告　昭四十三
洋学の伝来　歴史教育　昭四十四
佐賀藩蘭学史の研究　九州文化史研究所紀要　昭四十五
咸宜園と洋学　史淵　昭四十六

◇昭和四十五年度後期講義題目

○国史学

【特殊講義】

近世実学思想史の研究（幕末期）　杉本教授
近代日中関係史　臼井助教授
異国警固番役の研究　川添　〃

【特研】

近世史の諸問題　杉本教授

【演習】

古代の九州　田村教授
日本書紀　〃　〃
洋学史の研究　杉本　〃
近代の対外関係　臼井助教授
草野文書の研究　川添　〃
武家政権と大宰府　〃　〃
九州近世史の研究　藤野　〃

【講読】

幕末政治史関係資料の研究　山口助教授
近世史料講読　野口非常勤講師

○東洋史学

【講義】

五代史上の諸問題　日野教授
唐代税制　〃　〃

【特殊講義】

中国中世の村落制　越智助教授

【特研】

宋代傍戸制を中心として　日野教授

【演習】

宋史貨志　日野教授
旧五代史食貨志　〃　〃
北史講読　越智助教授

○西洋史学

【特殊講義】

フランス中世史　森　助教授
イギリス封建国家の成立　松垣非常勤講師

【演習】

(A) Nolte, Ernst; Vierzig Jahre Theorien über den Faschismus.　小林教授

(B) L' Encycyclopédie (extraito parJean Voilquin)　小林教授

卒論指導　〃　〃

近代化研究　〃　〃

カペー王朝史研究　楽　助教授

修道院慣習研究　〃　〃

都市奴隷の研究　服部教授

ローマ奴隷制度史研究　馬場助教授

○考古学

【講義】

遺跡の研究　鏡山教授

東洋考古学―アジア考古生態学―　岡崎助教授

原始文化の諸問題　森非常勤講師

【特研】

C　鏡山教授

【演習】

A　鏡山教授

日本考古遺文の研究（金石文）　岡崎助教授

【実習】　鏡山教授・岡崎助教授

◇昭和四十五年度秋季 西日本史学・九州史学会大会

しばらく開催できなかった西日本史学会・九州史学会共催の学術大会は、福岡大学の絶大な御協力で下記のように催された。久方ぶりの大会であったので活気にあふれ無事終了することが出来た。

一、会　場　福岡大学

二、日　程

○第一日　十二月六日（土）

特別発表

昼食会

委員協議会

特別発表

総会

○第二日　十二月七日（日）

部会

三、特別発表題目

(1) 五代の金融業者　日野開三郎

(2) 幣原外交について　臼井勝美

(3) サン・サヴアン・シュル・ガルタンプ修道院教会堂の学術調査　森洋

(4) 大宰府の発掘調査について　藤井功

四、部会発表題目

(1) 日本史部会

(i) 第一会場（古代・中世）

「耶馬台国」の所在地について　古田武彦
奈良時代の寺院制度について　秦源宏
平安時代の竈門大山寺　石村弘子
鎌倉末期、九州に於ける相論について　佐藤鉄太郎
中世後期の在地構造 ―宇佐宮領を中心として―　外園豊基
元寇（蒙古襲来）の研究の問題点　田中政喜

(ii) 第二会場（近世・近代）

近世初頭の豊後国農村と綿作　野口喜久雄
安永・天明期薩藩々政改革　黒田安雄
水天宮所蔵の真木和泉守書翰について　山口宗之
三池炭鉱官業払い下げ価格について　上妻幸英
日米交渉史の一断面 ―流れた近衛・ルーズベルト会談を中心に―　坂本夏雄

(2) 東洋史部会

北魏の三都　松永雅生
唐代における茶法について　西岡弘晃
蔡京通商法以後の東南塩法について　幸徹
北宋末期の「方臘の乱」について　中村健寿
元代司吏への途径について　牧野修二
明初における郷村統治の論理構造　日高一宇
中国における地方志の書誌的簡報　福田節生
唐代・五代の戸部の性格について　室永芳三

(3) 西洋史部会

一一世紀に於ける exemptio 特権の形成について　岸ちづ子
《MÉSUS》考 ―領主裁判権研究序説―　志垣嘉夫
デラウェア邦植民地の成立過程　社河内一郎
マリア・テレジア改革について ―その歴史的全体像の素描―　丹後杏二
最高軍司令官としての大統領　福本保信

(4) 考古学部会

鹿児島県別府原板石積石室墳について　上村俊雄
太宰府町成屋形古代住居地の調査　亀井明徳
北部九州における群集墳の問題　西谷正